

事業所名

放課後等デイサービス 花園・花園2号館

支援プログラム

作成日

8 年

2 月

6 日

法人（事業所）理念		子ども達が幸せを感じられるような人生を送れるよう支援すること。						
支援方針		日常力、社会性、適応力に焦点を置いた療育を行い、利用者さん個々の「自立共生力」を育てて行くこと。						
営業時間		通常 土、祝日、長期休暇	10 時 9 時	分から	19 時 18 時	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の増進を図る： 体温測定や口頭での質問により、健康状態を把握する。心身の変化を見逃さないようにきめ細な観察を行う。体操や筋トレをしたり、公園や体育館で運動をしたりしながら、体力の向上を図れるように支援する。 ・生活リズムや生活習慣の形成を目指す： 長期休暇中は午前中登所を促し、生活リズムを整えられるようにする。調理活動やお買い物活動をしたり、おままごと遊びを通して、食べることに興味を持てるように支援する。どこに何を入れるか決めたり、使ったら元の場所に戻す習慣をつけたりして、持ち物の管理や整理整頓ができるように支援する。 ・身辺自立を身に付ける： 一部介助や見守りなどを行い、自分でできることは自分でするという習慣を身につかせ、日常力向上を促す。事業所での活動や遊びを通して日常生活に必要なスキルを身につけられるように支援する。着替えをした後や外出する前、食後などに鏡を見るを習慣をつけ、身だしなみを整えられるように支援する。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢を保てるようになる： 体幹や筋力を育てる運動をする。正しい姿勢で座れるように、画像等を用いて説明をする。 ・運動機能の向上を図る： 走る、跳ぶ、投げる、つかむなどの要素を取り入れた活動を行う。関節の可動域を広げるストレッチやバランス感覚を鍛える活動を行う。 ・感覚統合を促す： 工作や料理などの微細運動をしたり、ボール遊びや遊具で遊ぶなどの粗大運動をしたりして、感覚統合を促せるように支援する。具体的な距離感を示したり、イメージしやすい方法で説明をしたりして、適切な距離感を保てるように支援する。小さい声で話す練習や、場に適した声量で話す練習をし、声の大きさへの気付きを促し、調整できるように支援する。ナンバータッチやタングラムを使った活動等を行い、視覚機能の向上を図れるように支援する。感覚過敏や感覚鈍麻のある児童に対して過ごしやすい環境を整える。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能の発達を促す： 視覚や聴覚、触覚などの感覚を活用できる活動を通し、認知機能の発達につなげられるように支援する。取得した情報を、今までの経験や状況からの的確に判断できるように支援する。 ・空間、時間、形、数量などの概念を理解できるようになる： ボールを使ったレクリエーションをしたり、ブロック遊びをしたり、工作をしたりして、空間認識を高められるように支援する。「登所して10分以内に宿題にとりかかる」や「活動が始まる5分前におもちゃを片づける」など、時間を意識した行動ができるように支援する。数字遊びをしたり、調理活動で計量したりしながら、数や数量の概念を理解できるように支援する。 ・適切な行動ができるようになる： 一日の流れや活動の流れ、次に何をするのかなどを視覚的に伝え、安心して次の行動に移れるように支援する。予定が変更になった時は、変更になった理由と変更後の見通しを伝え、落ち着いて行動することができるように支援する。避難訓練や交通安全指導などを行い、状況に応じた行動や危険予測ができるように支援する。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語理解や話の意図を読み取る： 聞く力を鍛えるゲームをしたり、リスニング問題をしたりして、言葉による理解を高められるように支援する。絵カードを見せながら言葉掛けやジェスチャーを行い、言葉と行動が結びつくように支援する。 ・言語表出や自分の気持ちを伝える： 言葉遊びゲームをしたり、簡単な質問に答える練習をしたりして、表現力を高められるように支援する。活動や帰りの会等を通して、人前で発表する機会を設け、言葉による発信力を育てる。ミニゲームやボードゲームなどの進行を任せ、発言力を育てる。5W1Hや名詞・動詞・形容詞などを組み合わせて話す練習をして、相手に伝わる話し方ができるように支援する。身振りや50音表、絵カード、書記、スマホなどを活用して、特性や場面に応じた伝え方ができるように環境を整える。 ・読み書き能力の向上を図る： 工作や調理活動を行う際に文章を読んで作業を進める練習をする。大事なことはメモをする習慣がつくように支援する。 						

	<p>人間関係 社会性</p>	<p>・自己理解を深め、感情のコントロールができるようになる： 一週間や半年の振り返りや、自己理解チェックリストを活用し、得意なことや苦手なこと、思考、行動パターンなどを理解できるように支援する。何が苦手で、何を不快に感じるか等自分で理解し、助けを求めたり、工夫や対策をしたりして、落ち着いて過ごせるように支援する。思い通りにならないことがあっても、感情的にならず、自分の気持ちを伝えることができるように支援する。</p> <p>・良好な対人関係を築けるようになる： 自分から挨拶をする習慣をつけたり、何かをしてもらった時はお礼を言ったり、悪いことをした時は謝ったりすることができるように支援する。児童同士で遊べるようにサポートしたり、活動を通して異年齢の児童と接する機会を設けたりして、思いやりや助け合いを学べるように支援する。</p> <p>・集団の中でも落ち着いて行動ができるようになる： 事前に活動の流れを説明し気持ちを整える時間を作ったり、短時間から始め、徐々に時間を伸ばしたりして、集団活動に参加できるよう支援する。集団活動に参加してルールを理解する力を身につけたり、負けを受け入れたりすることができるように支援する。公共交通機関を利用する練習やお買い物学習、外食を通して、社会的なルールやマナーを身につけられるように支援する。</p>		
	<p>家族支援</p>	<p>御家族に支援、療育、今後の進路等の分野でご相談がある時は、お話をする機会を設け対応しています。 また、その他に何かご相談事がある時はいつでも事業所にご連絡をいただけるよう、お伝えしています。</p>	<p>移行支援</p>	<p>就学に向け必要に応じて保育園、学校、行政、他事業所、相談支援事業所等と連携を行う。</p>
	<p>地域支援・地域連携</p>	<p>町内会に入り活動に参加したり、小倉薬剤師会、モノレール駅、コンビニ等の方々ともコミュニケーションを取りながら、利用者さんが活動しやすい環境を整える努力をしています。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>日々ミーティングや情報共有を行い、職員同士で協力し易い体制を整え、支援の質の向上を図っています。また、外部講師による研修の機会も今後行っていきます。</p>
	<p>主な行事等</p>	<p>季節の行事（初詣、バレンタイン、お雛様、お花見、歓迎遠足、鯉のぼり見学、花園祭り、ハロウィンイベント、クリスマス会等）、アレアスでの運動、公園遊び、外活動（お出かけ）、お買い物練習、個別支援活動、食育イベント、地域のフリーマーケットに出店等。</p>		